

平成22年度札幌医科大学FDワークショップ Step1  
11/25(木) 17:00~18:00 南第3講義室にて

・グループ名：自然科学(生物系)

・担当教員名(所属)

加藤淳二(医学部内科学第四講座)

苗代康可(医療人育成センター教育開発研究部門)

・参加学生3名

医学部1年生 男子1名

医学部2年生 男子1名

医学部4年生 男子1名

意見1:多様性生物学に関して、医学との関連性がわからない。  
(それに対し遺伝学で学ぶ薬剤耐性などは医学部にきた実感が沸く)

意見2:多様性生物学にかわって、細胞構造などをやった方が  
良い(細胞生物学)。

意見3:推薦されている教科書が高価。図書館にも冊数限られている。安価な教科書はないのか？安価な教科書を推薦してほしい。(シラバスには分子細胞生物学が推薦されている。)

(2年生)

意見4:大学に入って期待していたものと違うためモチベーションが下がる。医療、医学と関連するものだと説明されるが実感できない。

意見5:他大学、他学部では実践に即した、実験、レポートをやっているイメージがある。

(1年生)

意見6:多様性生物学は、いわゆる一般常識と考えてはどうか？教養として必要ではないか？

(意見1:多様性生物学に関して、医学との関連性がわからない)

意見7:将来に直結するものを学びたいという目先のことしか考えていないから上記のように考えられないのではないか？

意見8:学生の間にも直結するものを学びたいという人や広く浅く学びたいという人がいてどこに焦点を当てたらよいかという問題もあるが、そもそも本質として大学では学問するものだ。授業ではそのきっかけを作ってくれさえすればよい。

(4年生)

## 受験科目に生物を取っていない学生がいることについて問題提起

意見9:高校で学ぶ程度の生物の知識は必要。受験科目に生物を選択しなかった学生の知識不足は自己責任。大学が補講をやってやる必要はない。入学後春休みに自学しておくようにアドバイスすればよいのではないか？合格通知と一緒にそのアドバイスをすればよい。合格通知をもらったときが一番モチベーションが高いので。

(4年生)

意見10:高校の授業のみだったので、大学の生物はつらい。が大学での補講は必要ないと思う。やはり自学ですべきと自分でも考えている。とっつきやすい、安心して読める教科書を紹介してほしい。

(1年生)

意見11:大学で学ぶこともやはり知識で終わっている。問題解決のための道具にはなっていない。

(2年生)

意見12:予習ができるようなプリントを用意してほしい。予習ができない実験は座学に比べ嫌い。

(4年生)

意見13:アンケートが記名式なのはどうか？